

赤潮プランクトン情報（第4報）

福岡県水産海洋技術センター

平成29年7月3日

7月3日に調査した結果、一部の漁港内でシャトネラの発生を確認しました。

細胞数は1 mLあたり最大11細胞となっています。各漁港の調査結果は以下のとおりです。シャトネラは魚介類に対する毒性が非常に強く、1 mLあたり数10細胞の低密度でも被害を及ぼすことがあります。今後晴天が続いた場合、水温の上昇、日照の増大及び低塩分により急激に増殖する恐れもあります。

海水が着色しなくても、魚介類に被害を及ぼす場合があります。
漁港での魚介類の蓄養には注意してください。

魚介類の大量斃死がみられたり、漁場の海水が着色していた場合などは当センターへ至急連絡願います。

調査結果表

調査地点	<i>Chattonella</i> sp.(cell/ml)	調査地点	<i>Chattonella</i> sp.(cell/ml)
旧門司	—	岩屋	—
大里	—	柏原	—
藍島	11	芦屋	—
馬島	—	波津	—
長浜	—	福岡	—
平松	—	新宮相島	0
若松	—	新宮	0
脇之浦	—	奈多	0
脇田	0	小呂	—

※表中の「0」は1 cell/ml未満の密度。「—」は、検出せず。

※採水水深は約1 m(降雨の影響をさけるため)

連絡先 福岡県水産海洋技術センター
研究部 資源環境課 森本・中山・秋本
092-806-0884